

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	兵庫小学校建設事業				コード	01	50	20	05	99
2	担当部課	教育部			学校教育課						
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造する子ども達				
		中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	新設小学校学区の児童									
2	働きかける相手(対象)	SPC (PFI契約会社)									
3	どのような状態にしたいのか(意図)	小学校校舎、体育館、プール、児童館他を建設します。									
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	新設小学校施設整備事業								
		工事期間	平成 16 年度～平成 33 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	SPCが小学校校舎、体育館、プール、児童館等を建設しました。								
		評価年度の実施内容	校舎9,271㎡、屋内運動場1,143㎡、屋外水泳プール、児童館463㎡の購入								
		予定全体事業量 [A]	10,877.00 ㎡								
		評価年度までの事業量 [Σ a]	10,877.00 ㎡								
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100 %								
		予定全体直接事業費 [B]	2,425,887,286 円								
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	1,395,273,188 円								
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	57.5 %								
評価年度の事業量 [a]	0.00 ㎡										
評価年度の直接事業費 [b]	73,129,188 円										
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円										
5	直接事業費計	前年度決算額	1,353,576,352 円				決算額	73,129,188 円			

6 コストの 推移	項 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
	直接事業費① (②+③+④)	1,353,576,352	73,129,188	73,188,000
	一般財源②	221,889,352	73,129,188	73,188,000
	起 債 ③	544,600,000	0	0
	そ の 他 ④	587,087,000	0	0
	概算人件費⑤	12,474,100	1,980,082	
	総合計 (① + ⑤)	1,366,050,452	75,109,270	
	町費投入額(②+③+⑤)	778,963,452	75,109,270	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	新設小学校施設整備事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、 改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、 改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、 改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特にありません。
------------------	----------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	小学校耐震補強事業				コード	01	50	20	05	40
2	担当部課	教育部				学校教育課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造する子ども達				
		中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	小学校の児童、教諭及び施設利用者									
2	働きかける相手(対象)	旧建築基準で建設された校舎及び体育館									
3	どのような状態にしたいのか(意図)	建物の耐震性を確保し、地震防災対策の促進を図ります。									
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	小学校耐震補強事業								
		工事期間	平成 10 年度～平成 22 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度		
		全体工事概要	H10音小北, H14高小南, H15春小体育館, H16諸小北, H17春小南, H18諸小南, H20東小東西, H22音小体育館, 高小体育館, 諸小体育館								
		評価年度の実施内容	東郷小学校東校舎、西校舎の耐震診断、実施設計を行いました。 校舎面積 3,099㎡								
		予定全体事業量 [A]	24,077.00 ㎡								
		評価年度までの事業量 [Σ a]	18,275.00 ㎡								
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	75.9 %								
		予定全体直接事業費 [B]	913,733,950 円								
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	733,942,750 円								
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	80.3 %								
		評価年度の事業量 [a]	0.00 ㎡								
評価年度の直接事業費 [b]	8,557,500 円										
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円										
5	直接事業費計	前年度決算額	17,795,400 円				決算額	8,557,500 円			

6 コストの推移	項 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
	直接事業費① (②+③+④)	17,795,400	8,557,500	104,293,000
	一般財源②	3,182,400	8,557,500	6,309,000
	起 債 ③	6,900,000	0	46,400,000
	そ の 他 ④	7,713,000	0	51,584,000
	概 算 人 件 費 ⑤	1,956,245	1,706,747	
	総 合 計 (① + ⑤)	19,751,645	10,264,247	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	12,038,645	10,264,247	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	小学校耐震補強事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	東海地震及び東南海地震において、マグニチュード7.0程度の規模の地震が発生し甚大な被害が予想されるので、地震防災上緊急に整備をする必要があります。		
3 建設事業評価コメント	東海地震強化地域に指定され、学校施設が避難所の指定を受けているので、校舎・体育館の地震補強対策が必要です。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	地震補強計画の年次の見直し。災害時の避難所としての地震対策です。
------------------	----------------------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	中学校耐震補強事業				コード	01	50	30	05	40
2	担当部課	教育部				学校教育課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	1	安心して暮らせる福祉のまちづくり	大項目	3	未来を創造する子ども達				
		中項目	2	学校教育	小項目	2	義務教育				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	中学校の生徒、教諭及び施設利用者											
2	働きかける相手(対象)	旧建築基準で建設された校舎及び体育館											
3	どのような状態にしたいのか(意図)	建物の耐震性を確保し、地震防災対策の促進を図ります。											
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	中学校耐震補強事業										
		工事期間	平成 13 年度～平成 21 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度				
		全体工事概要	H13東郷中学校南校舎、H19東郷中学校北校舎、H21東郷中学校体育館										
		評価年度の実施内容	東郷中学校北校舎の耐震改修工事を行いました。 補強概要 RC壁増設 2箇所 RC壁補強 4箇所 RC袖壁増設 22箇所										
		予定全体事業量 [A]	9,920.00 m ²										
		評価年度までの事業量 [Σ a]	7,268.00 m ²										
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	73.3 %									%	%
		予定全体直接事業費 [B]	458,589,750 円									円	円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	303,245,250 円									円	円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	66.1 %									%	%
		評価年度の事業量 [a]	4,068.00 m ²										
評価年度の直接事業費 [b]	27,250,650 円									円	円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	6,699 円									円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額				1,890,000 円		決算額		27,250,650 円			

6 コストの推移	項 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
	直接事業費① (②+③+④)	1,890,000	27,250,650	5,426,000
	一般財源②	1,890,000	8,668,650	5,426,000
	起 債 ③	0	7,900,000	0
	そ の 他 ④	0	10,682,000	0
	概 算 人 件 費 ⑤	1,161,564	1,517,699	
	総 合 計 (① + ⑤)	3,051,564	28,768,349	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	3,051,564	18,086,349	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	中学校耐震補強事業		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	東海地震及び東南海地震において、マグニチュード7.0程度の規模の地震が発生し甚大な被害が予想されるので、地震防災上緊急に整備をする必要があります。		
3 建設事業評価コメント	東海地震強化地域に指定され、学校施設が避難所の指定を受けているので、校舎・体育館の地震補強対策が必要です。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	校舎の耐震性を確保した後、体育館の耐震性を確保します。
------------------	-----------------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	都市計画道路整備事業				コード	01	40	20	10	10
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	2	都市計画道路				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人										
2	働きかける相手(対象)	都市計画道路										
3	どのような状態にしたいのか(意図)	幹線道路の整備を図り、車両交通が円滑になるようにします。										
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	東郷・三好線									
		工事期間	平成 16 年度～平成 23 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度			
		全体工事概要	工事延長 L = 250m 用地取得 A = 2,840㎡、 公社買戻し									
		評価年度の実施内容	用地取得(土地開発公社) 440.80㎡									
		予定全体事業量 [A]	250.00m									
		評価年度までの事業量 [Σ a]	80.00m									
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	32%							%		%
		予定全体直接事業費 [B]	214,989,335 円							円		円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	50,900,445 円							円		円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	23.7%							%		%
評価年度の事業量 [a]	0.00m											
評価年度の直接事業費 [b]	20,612,720 円							円		円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円							円		円		
5	直接事業費計	前年度決算額			15,083,265 円	決算額			20,612,720 円			

6 コストの推移	項 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
	直接事業費① (②+③+④)	15,083,265	20,612,720	26,439,000
	一般財源②	15,083,265	20,612,720	26,439,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	0	0	0
	概 算 人 件 費 ⑤	5,504,236	5,566,738	
	総 合 計 (① + ⑤)	20,587,501	26,179,458	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	20,587,501	26,179,458	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	東郷・三好線	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	三好町区画整理事業の動向次第では工事実施時期の調整が必要です。	
3 建設事業評価コメント	予算面については、関係部局と十分に協議し、円滑な予算執行をします。また、三好町の事業を把握し手戻り等のないように努めます。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	三好町との調整を図り早期の事業着手をします。
------------------	------------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業(単独)				コード	01	40	20	10	05
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	3	生活道路				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人				
2	働きかける相手(対象)	道路				
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行が円滑になるようにします。				
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	町道涼松7号線外2路線	牛廻間地区		
		工事期間	平成 12 年度～平成 20 年度	平成 13 年度～平成 24 年度	平成 年度～平成 年度	
		全体工事概要	工事延長 L = 329 用地取得 A = 1,534㎡ 物件補償 公社買収の買戻し	工事延長 L = 981m 用地取得 A = 1,614㎡、 物件補償		
		評価年度の実施内容	用地取得 A = 45.10㎡			
		予定全体事業量 [A]	329.00m	981.00m		
		評価年度までの事業量 [Σ a]	329.00m	185.00m		
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100%	18.9%	%	
		予定全体直接事業費 [B]	209,499,535 円	162,990,733 円	円	
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	206,658,291 円	75,425,591 円	円	
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	98.6%	46.3%	%	
評価年度の事業量 [a]	0.00m	0.00m				
評価年度の直接事業費 [b]	12,359,110 円	0 円	円			
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	0 円	0 円	円			
5	直接事業費計	前年度決算額	26,340,966 円	決算額	19,870,682 円	

6 コストの推移	項 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
	直接事業費① (②+③+④)	26,340,966	19,870,682	11,042,000
	一般財源②	26,155,044	19,844,464	11,032,000
	起 債 ③	0	0	0
	そ の 他 ④	185,922	26,218	10,000
	概 算 人 件 費 ⑤	3,931,597	3,976,242	
	総 合 計 (① + ⑤)	30,272,563	23,846,924	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	30,086,641	23,820,706	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	町道涼松7号線外2路線		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	特にありません。		

工事・路線名 (2)	牛廻間地区		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	本格的な事業展開が図れるよう、計画的な事業執行を行います。また、用地難航者に対して事業の理解が得られるよう、関係部局と連携し進めます。		
3 建設事業評価コメント	執行は慎重かつ迅速に、また事業全体を意識し計画的に執行します。		

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	まちづくり交付金事業を生かし、計画的かつ積極的に事業執行を目指します。
------------------	-------------------------------------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	道路新設改良事業(補助)				コード	01	40	20	10	05
2	担当部課	経済建設部				建設課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	3	生活道路				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	道路を利用する人											
2	働きかける相手(対象)	道路											
3	どのような状態にしたいのか(意図)	地域の生活道路を整備することにより、通行車両等の通行が円滑になるようにします。											
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	白土涼松地区										
		工事期間	平成 17 年度～平成 21 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度				
		全体工事概要	工事延長 L = 1, 589m										
		評価年度の実施内容	工事施工 L = 275m 用地買収 167,711千円 (2,419㎡) 物件補償 5,062千円										
		予定全体事業量 [A]	1,589.00m										
		評価年度までの事業量 [Σ a]	425.00m										
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	26.7%									%	%
		予定全体直接事業費 [B]	485,992,773 円									円	円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	245,679,946 円									円	円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	50.6%									%	%
評価年度の事業量 [a]	275.00m												
評価年度の直接事業費 [b]	67,397,946 円									円	円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	245,083 円									円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額				110,970,173 円				決算額		67,397,945 円	

6 コストの推移	項 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
	直接事業費① (②+③+④)	110,970,173	67,397,945	180,348,000
	一般財源②	12,520,093	10,234,238	36,125,000
	起 債 ③	21,940,000	28,000,000	108,500,000
	そ の 他 ④	76,510,080	29,163,707	35,723,000
	概 算 人 件 費 ⑤	13,105,325	13,254,139	
	総 合 計 (① + ⑤)	124,075,498	80,652,084	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	47,565,418	51,488,377	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	白土涼松地区		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	用地難航者等により、進捗に影響が出始めているため、優先路線の精査をし効率的に事業実施をする必要があります。		
3 建設事業評価コメント	下水道整備等の関連する事業展開に歩調を合わせて、効率的な施工に心掛けます。		

工事・路線名 (2)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	
------------------	--

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	公園緑地築造事業				コード	01	40	40	10	10
2	担当部課	経済建設部				都市計画課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	4	公園整備				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	町民及び公園利用者			
2	働きかける相手(対象)	公園施設等			
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公園を設置、整備することにより、町民の生活環境向上の場の提供や災害時の一次避難地としてのスペース確保が確保されるようにします。			
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	白土第2公園 (0.28ha)	白土第1公園 (0.10ha)	
		工事期間	平成 17年度～平成 19年度	平成 19年度～平成 21年度	平成 年度～平成 年度
		全体工事概要	H17: ワークショップ・基本計画策定 H18: 実施設計業務 用地購入・物件補償 H19: 公園築造	H19: 用地購入(土公社) ワークショップ・基本計画策定 H20: 実施設計業務 H21: 公園築造	
		評価年度の実施内容	公園築造工事 (0.28ha)	用地購入(1,000.30㎡) ・用地交渉、分筆登記 ・土公社代行用地買収 ワークショップ・基本計画策定 ・ワークショップ運営(5回開催) ・基本計画策定業務委託	
		予定全体事業量 [A]	4.00事業	4.00事業	
		評価年度までの事業量 [Σ a]	4.00事業	2.00事業	
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	100%	50%	%
		予定全体直接事業費 [B]	49,813,273 円	92,908,000 円	円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	49,813,273 円	1,156,771 円	円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	100%	1.2%	%
評価年度の事業量 [a]	1.00事業	2.00事業			
評価年度の直接事業費 [b]	38,239,950 円	1,156,771 円	円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	38,239,950 円	578,386 円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額	9,640,823 円	決算額	39,396,721 円

6 コストの推移	項 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
	直接事業費① (②+③+④)	9,640,823	39,396,721	2,414
	一般財源②	675,380	6,361,099	1,337
	起 債 ③	2,000,000	16,000,000	800
	そ の 他 ④	6,965,443	17,035,622	277
	概算人件費⑤	2,180,895	3,082,692	
	総合計 (① + ⑤)	11,821,718	42,479,413	
町費投入額(②+③+⑤)	4,856,275	25,443,791		

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	白土第2公園 (0.28ha)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	世代間において公園の利用形態が異なるため、住み分けや利用についてのルールを地域にあわせ地域で整備していくことが必要と思われまます。		
3 建設事業評価コメント	ワークショップ形式による基本計画を策定したことにより、地域住民の意見や要望等を考慮した公園の計画設計ができ、これにより地域に密着、愛される公園として整備完成することができました。		

工事・路線名 (2)	白土第1公園 (0.10ha)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input checked="" type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	特にありません。		
3 建設事業評価コメント	公園計画については、より慎重に住民への説明責任を果たす必要があると感じました。 ワークショップにあっては、参加応募者が少なく開催が危ぶまれましたが、地区の協力により参加者の確保ができ無事開催できました。その結果、参加者の積極的な意見・協力により、地域に配慮した計画を策定することができました。		

工事・路線名 (3)			
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か?	YES <input type="checkbox"/>	NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等			
3 建設事業評価コメント			

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	特になし
------------------	------

I. 建設事業の目的体系

1	事業名	公共下水道建設事業				コード	09	20	20	20	05
2	担当部課	経済建設部				下水道課					
3	上位の政策・施策 (目的体系の確認)	章	2	快適で活気あふれるまちづくり	大項目	1	快適でうるおいのある暮らし				
		中項目	2	基盤整備	小項目	7	下水道				

II. (Do)建設事業の内容

1	誰のために(受益者)	下水道認可区域内の地権者及び住民											
2	働きかける相手(対象)	下水道認可区域内の受益地											
3	どのような状態にしたいのか(意図)	公共用水域の水質が改善されることにより、町民生活の環境衛生が向上されるようにします。											
4	評価対象年度にどのようなことを実施したのか	工事・路線名	建設事業費										
		工事期間	平成 1 年度～平成 20 年度	平成	年度～平成	年度	平成	年度～平成	年度				
		全体工事概要	事業認可取得区域・市街化区域483haの公共下水道の整備										
		評価年度の実施内容	整備面積 21.95ha 整備延長 6.2km 接続件数 683件										
		予定全体事業量 [A]	483.00ha										
		評価年度までの事業量 [Σ a]	421.68ha										
		事業量の進捗率 [Σ a/A]	87.3%									%	%
		予定全体直接事業費 [B]	15,560,007,000 円									円	円
		評価年度までの直接事業費 [Σ b]	13,482,980,243 円									円	円
		事業費の進捗率 [Σ b/B]	86.7%									%	%
		評価年度の事業量 [a]	21.95ha										
評価年度の直接事業費 [b]	450,982,844 円									円	円		
事業量1単位当たり直接事業費 [b/a]	20,545,915 円									円	円		
5	直接事業費計	前年度決算額				577,270,788 円				決算額		450,982,844 円	

6 コストの推移	項 目	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
	直接事業費① (②+③+④)	577,270,788	450,982,844	471,886,000
	一般財源②	82,924,205	65,086,195	101,854,000
	起 債 ③	318,500,000	230,800,000	195,900,000
	そ の 他 ④	175,846,583	155,096,649	174,132,000
	概 算 人 件 費 ⑤	39,063,448	36,809,123	
	総 合 計 (① + ⑤)	616,334,236	487,791,967	
	町 費 投 入 額 (② + ③ + ⑤)	440,487,653	332,695,318	

Ⅲ. (Check)建設事業の評価

工事・路線名 (1)	建設事業費	
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input checked="" type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等	白鳥、御岳地区の面整備を重点的に実施しており計画通り事業が進捗しています。Ha当たりの整備費については、諸輪地区の舗装復旧、幹線道路の舗装復旧を同時に整備したため、増加しました。	
3 建設事業評価コメント	公共用水域の水質改善が急務とされており、DID地区の下水道整備を早急に行う必要があり、下水道事業の工法等を検討しコスト縮減意識を持って、白鳥・御岳地区全体の供用開始を平成20年度までに完了するよう整備しました。	

工事・路線名 (2)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

工事・路線名 (3)		
1 評価の視点	環境の変化を考慮しても事業の役割はうすれていないか？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
	評価年度の事業量1単位当たりの直接事業費は妥当な水準か？	YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
2 把握された問題点、改善可能事項等		
3 建設事業評価コメント		

Ⅳ. (Action)改革・改善の内容

改善内容 (課題への対応)	補助事業費の縮減に伴い下水道事業費の確保が困難なため、関係機関と協議しつつ、工法及び施工方法等を検討しコスト縮減を目指します。
------------------	---